日本賢人会議所

第6号

会長　橋本久美子

令和3年となりましたが、恒例の新年祝賀会の開催も難しく、皆様にはこうして書面でのご挨拶となりました。

首都圏などでは2回目の緊急事態宣言の発令となり、ご不自由な日々をお過ごしのことではと案じ申し上げております。当会の月曜セミナーなどの活動もほぼ1年のあいだ開催が出来ず誠に残念ですが、そのような中でも2回の理事会と第6回定時総会をオンライン会議も使いながら開催し、一般社団法人として必要なコンプライアンスを果たせたことは、皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。また、懸案だった事務所も港区内での移転が実現してコンパクトになったことで、当会の財政が健全化されたことは安堵できる材料だと思っております。

今は一心に新型コロナウイルス感染症の収束を祈るばかりですが、この状態が長期化することも想定しつつ、当会としての新しい日常に皆様で知恵と工夫を持ち寄りながら対応していければと存じます。また、そのような制約の中でも、少しでも社会の役に立つ取り組みや発信ができればと願う次第ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に改めて、会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

新事務所ご案内

昨年秋、日本賢人会議所の事務所は、「東京都港区芝浦1丁目13番地10号第3東運ビル４F」に移転しました。旧事務所は芝浦2丁目でしたので、400mほどの移動で、JR田町駅からの距離はほぼ同じ、徒歩10分以内です。目安としては愛育病院の隣のボーリング場「東京ポートボール」がある第３東運ビルの４階で、入口はセブンイレブンの右側にあります。

専用スペースは机と書庫を置く範囲ですが、事前予約により会議室の利用も可能です。電話番号03-6809-4950およびファックス番号03-6809-4951に変更ありませんが、基本的には無人事務所ですので、当会の電話は小林事務局長の携帯電話090-8030-1002にそのまま転送されることをご承知ください。

日本賢人会議所連絡先

〒108-0023 東京都港区芝浦
1-13-10 第3東運ビル４F
TEL : 03-6809-4950
FAX : 03-6809-4951
E-mail : info@nipponkenjin.com
HP : https://
www.nipponkenjin.com/
FB : https://
www.facebook.com/
smart.senior.council/

「No, going back　みんなでコロナ災禍での賢人会議所活動を考えましょう」

理事長　小早川明德

会員の皆様には、コロナ災禍の中で、ご家庭でもお仕事でも何かとご不自由でご不安を胸にお過ごしのことと憂慮しています。諸行事の開催もままならない状況に置かれていまして皆様に申し訳なく存じています。

私達の人生は、家庭を学びの「場」とし、友人を成長の「糧」とし、職場や組織を研鑽の「場」として拡がっていきます。私たちの賢人会議所も、国や社会を一生懸命に良くしようという皆様方の真心の結集によって、今日を迎えられたと思っています。

このコロナ災禍にあっても、私どもはこの組織を介してのご縁で、地域・国家のあるべき姿を真剣に学び、夢や希望を熱く語れる同志との価値観を共有しながら、ささやかでも社会創りに汗を流して参りたい、それこそが我々自身の人生をより豊かにし味わいのあるものにすることだと改めて知らされた思いが致します。

作家の山岡荘八さんが『坂本龍馬』という著書の中で、「世のため人のために良い仕事をするには、一級の人物にならなければいけない。一級の修業をするには一級の人との出会いがなければならない」と、言われています。私は、この賢人会議所で、実に多くの第一級の方々にご縁をいただけることを密かに無常の喜びとしています。

いつも、私自身を顧みるとき、色々な事業を実施するに際して、その事業が大きければ大きい程、社会で果たすべきミッションと、そのミッションに対する己の実力が余りにも乖離しているという事に悩ませられました。そういう意味でも、私は、組織として、今後さらなる社会的責任を果たすためにも、これまで以上に人の知恵を借り、人の真心をいただき、精進し成長していかねばならないと思っています。

「創りたい社会、達成したい未来」をみんなで描き求めながら、いささかなりとも国創りのため、社会のために、お役に立てるとするならば、これは一重にその役割を担っていただきます、お一人おひとりのお力を頂けるおかげでございます。

改めて心から御礼申し上げまして、ご挨拶にかえさせて頂きます。有難うございます。

ご挨拶（その１）

早稲田大学の森本です

顧問　森本英香

昨年１０月の総理の宣言以来、日本は脱炭素に向けて大きく舵を切りました。脱炭素は、エネルギーの自立化を促すものでもあり安全保障の観点からも重要です。

地域でも同じです。コロナ禍がグローバル化のリスクを顕在化させており、地域がエネルギー的にも資源的にもできるだけ自らの足で立ち、そのうえで連携して多様性ある強靭な日本社会を作ることが、正しい選択だと思います。脱炭素化と地域での循環共生圏の実現は一体のものです。

コロナ後の社会では、「豊かさ」の意味が変わってきています。これまでのＧＮＰで測定される物質的な豊かさへの追求から、心の豊かさによって生活の質の向上を求める方向へと大きく変化しています。地域に住み、生活を楽しみ、人とのつながりを楽しむそんな生活が、いわばコロナ禍を奇貨として、また、デジタル化の動きと相まって、広がっています。

「地域」「循環と共生」「デジタル化」そして「生活の質を向上する新たな成長」をキーワードとした社会づくりに取り組んでいくことが、今後の日本の成長戦略だと考えています。

注）森本英香氏は、内閣審議官、環境事務次官などを歴任され、現在は早稲田大学法学部教授、一般財団法人持続性推進機構理事長などを務められ、今般、当会顧問に就任頂きました。

南太平洋の子供たちを東京五輪に招くプロジェクト

副会長　栗山昌子

皆さまの心のこもったご協力に感謝を申し上げます。

日本賢人会議所設立が、オリンピック東京開催が決まった直後のことであり、このプロジェクトは発足当初から会の根幹でもあるチャリティーイベントとして大事に取り上げられてきました。会員でない方々を交えての会合、関係大使館のご協力、日本太鼓財団のイベントへの参加、キシコ音楽財団からのご芳志、毎年のチャリティーゴルフなど、会員以外の方がたからも、精神的な支え、また金銭的なご寄付を頂いて参りました。

オリンピック・パラリンピック組織委員会・前会長の森喜郎様には、この企画が世界から東北大震災に寄せられた熱いご厚情に御礼を言う機会になればと大賛成をしていただき、力づけられていました。外務省からも後援事業にと話が進んでいたのです。話し合いには、当会議所の担当の理事の方々が、繁く足を運ばれ、時間と労力を惜しむことなく使って下さいました。国際相撲連盟のご協力もいただき、プログラムが出来あがり日程づくりもあと一息になって、コロナ禍でのオリンピックの延期になったのです。

今年、無事にオリンピックが開かれることになっても、計画を変えることを考えなければなりません。子供たちを招いての計画はやはり自重すべきと思います。それでも皆さまの思いを乗せた形を実現する工夫をしていかなければなりません。外務省の後援も引き続きお願いして参ります。会計の報告にもありますように、寄付していただいた185万6千円があります。島々の子供たちに私たちの友好親善の思いを形にして届けなければと思います。まだ話し合う場も設けることが出来ないのですが、皆さまのご提案、お知恵を当会まで寄せていただければとお願いいたします。

ご挨拶（その２）

老年よ、大志をいだけ

副会長　福生吉裕

このたび副会長を拝命いたしました日本未病総合研究所の福生吉裕です。一言、提言を加え就任の挨拶とさせていただきます。

誰でもが感じられていられるように世の中コロナに占領をされてしまった状況ですが、今後、政策次第ではさらに不自由で困難な時代に直面するのではないかと危惧される事です。

それは社会保障システムの継続の問題です。一昨年2019年に生まれた方は90万人を切ったといわれ、前期高齢者数より後期高齢者数が上回る重高齢社会である現状です。

ここにコロナの追い打ちが来ました。学生や若い人は自宅でのリモート授業、テレワークを余儀なくされ、対人関係にいびつな状況を強いられてきております。今年生まれる子供達は人間は皆マスクをかぶっているものと思うでしょう。

一方、人生100歳に手が届く医療社会状況も確かです。問題は少子超高齢社会の中で穏やかな社会保障システムをいかに続けていくかでありましょう。

コロナ禍で恐ろしいのは「人を見たらコロナと思え」が身を守る合い言葉となってしまい人間どうしの信頼関係やそこから生み出される文化が悉く阻害されてしまうことではないでしょうか。

また、2015年に国連で出されたSDGsの概念がようやく日本で浸透しつつあります。17項目にわたる持続する目標が掲げられています。しかし世界的に大きな課題でありますので隔靴掻痒感は免れません。今そこにある日本型SDGsを見極め対応していくことが目下の急務かと思われます。

それが「老年よ、大志を抱け」であります。老人ではありません。老年です。

これは“老年が大志を抱いて未曾有の世界に突入する勇気です”。

では大志とは何を言うのでしょうか。それは“死ぬまで活きる”、と言うことです。活き活きとして動き、出来れば税金を払って活きたい。若い人達から支持され、一目をおかれ、一緒に語り合え、さらに社会的に認知される高齢者を目指したいと思います。

まずは健康。と言ってもやはり老化現象は免れませんので、そこは“痛くもかゆくもない未病のままで100歳を迎える”のはいかがでしょうか。これもウイズコロナ時代での大志ではないかと思っております。

ご挨拶

副理事長　坪井清

このたび副理事長に就任いたしました坪井 清と申します。引き続きよろしくお願い申し上げます。

昨年「後期高齢者」となり、改めて「時の速さ」と「健康第一」を実感している毎日です。日本興業銀行と東京都民銀行と併せ35年間、企業審査・事業金融などを担当しました。その後、国際医療福祉大学(病院の審査・コンサル)を経て日本格付研究所にて内海社長(元財務官)のもと10年間最期のサラリーマン生活を送りました。

【今後取り組む活動のご提案】

全世界で喫緊の課題となった「コロナ問題」は、当会議所としても看過できないテーマと考えます。～ 本年1月27日現在で世界の累計感染者数が1億人を超えました！

具体的な検討事項は以下の通りです。

①「未病」の観点からのアプローチ

当会議所の直近の活

動として、福生先生(現副会長)のご指導のもと「人生100歳時代の到来に備えた未病提言」を行いました。こうした流れに沿ったテーマであり、かつ「目に見えず自覚症状のない時期から他人に感染させる新型コロナ」は「未病期にある感染症として捉えられる」(福生先生『未病と抗老化』)点に着目して、役に立つ論点整理をしてはいかがでしょうか。

② コロナ問題で露呈した「我国の脆弱性」の観点からのアプローチ

1) EBM(根拠に基づく医療)の未浸透

医療の世界では「根拠に基づく医療(Evidence Based Medicine)」が不可欠なものとして実践されています。残念ながら、コロナ対策においてはこの視点が著しく後退しているように思われます。例えば「コロナ流行とGoToの因果関係」について「延べ7000万人の利用者の内感染者は340人に過ぎない」として因果関係を否定する説。

～「延べ7000万人の利用者」の感染の有無についての調査方法とそのデータは? 「無感染症状者」やネズミ算的に感染者が増える「無症状の感染者」やネズミ算的に感染者数が増えることになる「実効再生産数」(一人の感染者から次に平均何人にうつるか）は反映されてるか？

2) 若い世代への情報発信の弱さ

「緊急事態宣言での外出自粛」にしても肝心な20～30代の若手層への発信力に乏しいと言われています。「若手層の情報入手はテレビや新聞よりもネットが主流」という点を踏まえた情報発信も必要では？

この点は、当会議所も若手層への発信について十分な配慮が必要であり、そのためには彼等との交流の機会を持ち、その行動様式や考え方をまずは理解するようにしたいものです。

注）北原巖男氏は、防衛施設庁長官、東ティモール駐箚特命全権大使などを歴任し、現在は一般社団法人日本東チモール協会会長を務めています。

もう一つのサンライズの国

理事　北原巖男

2020年度秋の総会におきまして、理事に就任いたしました。
橋本会長、小早川理事長はじめ皆さまのご指導を賜りながら、日本賢人会議所の活動・発展に微力を尽くして参りたいと思います。何卒、よろしくお願い申し上げます。

2021年は、1年延期された東京オリンピック・パラリンピック開催の年。コロナ禍収束し、選手・観客を含む全ての皆さんの安全を確保して開催出来ることを、開催期間中に日本賢人会議所の「南の島プロジェクト」が思い出深く実施出来ることを、願って止みません。
この「南の島プロジェクト」は、「太平洋・島サミット」参加国中の14か国・2地域を対象にしていますが、参加国以外の東ティモールも含まれています。東ティモールに係わって来ている者の一人として、とても嬉しく関係の皆さまに心から感謝申し上げます。

そんな東ティモールは、沖縄県宮古島の真南5000㎞に位置し、東京都と千葉・埼玉・神奈川の３県を合わせた程度の国土に約130万人が在住。とても親日的です。人口増加率は右肩上がりで年間およそ1.8％増。平均年齢も、日本の48歳とは真逆の18歳。15歳以下が人口の46％を占める若い国、これからの国です。それだけに教育、人づくりが重要です。日本は、人づくりを含め国づくりの真っ只中にある東ティモールに対し、多方面にわたる支援を継続して来ています。
また、外交的には非同盟であり、2011年にはASEAN加盟を正式申請済みです。まだ加盟には至っていませんが、日本は同国の円滑な加盟を支持しています。

東ティモールの皆さんは、自分たちの国を「ティモール・ロロサエ」とも呼んでいます。ティモールは、東のこと。ロロサエのロロは太陽。サエは昇るを意味します。つまり東の太陽が昇る国。正に日本と同じサンライズの国。そして「まことに小さな国が、開化期をむかえようとしている」（司馬遼太郎著「坂の上の雲」）とのイメージに、どこか重なるものもあるもう一つのサンライズの国、それが今の東ティモールです。

新役員

第6回定時総会および第14回と第15回理事会により、川口順子氏と森本英香氏が新たな顧問に、福生吉裕理事が副会長に、坪井清理事が副理事長に、小林正博理事が常務理事に、北原巖男氏が新理事に、それぞれ就任しました。

No.		氏名	所属	役職
1	顧問	秋本 敏文	財団法人 日本消防協会	会長
2	顧問	川口 順子	東京財団政策研究所　元外務大臣　元環境大臣	名誉研究員
3	顧問	嶋津 昭	一般財団法人 地方自治研究機構	会長
4	顧問	古橋 源六郎	一般財団法人古橋会	理事長
5	顧問	茂木 友三郎	キッコーマン（株）	取締役名誉会長
6	顧問	森本 英香	早稲田大学法学部　環境省元事務次官	教授
7	顧問	横倉 義武	社会医療法人弘恵会　日本医師会前会長	理事長
1	会長	橋本 久美子	社会福祉法人 日本介助犬協会	会長
2	副会長	栗山 昌子	アジア婦人友好会	元理事長
3	副会長	福生 吉裕	日本未病総合研究所・博慈会老人病研究所	所長（医学博士）
4	副会長	宮下 研一	ウェルリンク（株）	代表取締役社長
5	理事長	小早川 明徳	公益社団法人福岡県高齢者能力活用センター	理事長
6	副理事長	重村 正彦	丸善薬品産業（株）	元専務取締役
7	副理事長	坪井 清	（株）日本格付研究所	元常務取締役
8	副理事長	芳賀 敏行	AGCポリマー建材（株）	元代表取締役社長
9	常務理事	小林 正博	マックス建材（株）	海外推進室長
10	理事	伊佐 裕	伊佐ホームズ（株）	代表取締役社長
11	理事	泉 宏		政治ジャーナリスト
12	理事	市川 美保子	市川本古事記製作プロジェクト	代表
13	理事	大石 正昭	（株）TSIホールディングス	取締役
14	理事	小川 郷太郎	公益財団法人AFS日本協会 元在デンマーク大使	元理事長
15	理事	表 伸一郎	かんきょう塾ネット	副代表
16	理事	尾山 重美	日本工機（株）	元常務取締役
17	理事	梶 明彦	（株）目黒雅叙園	元代表取締役社長
18	理事	葛城 良二	カツラギ商事㈱	取締役社長
19	理事	川口 希史子	ワールドジェクト音楽協会	理事長
20	理事	北原 巖男	一社）日本東チモール協会　元在東チモール大使	会長
21	理事	黒澤 正和	公益財団法人犯罪被害救援基金	専務理事
22	理事	小林 泉	大阪学院大学	教授
23	理事	佐伯 浩明		ジャーナリスト
24	理事	坂本 和彦	日本オペラ振興会会員指揮者	指揮者
25	理事	下重 暁子		作家

No.		氏名	所属	役職
26	理事	白須 夏	士魂の会 中央区議会議員	代表
27	理事	瀬尾 純一郎	（株）ジェイ・モーゲージバンク	取締役社長
28	理事	田林 巌樹	公益財団法人日本産業退職者協会	元専務理事
29	理事	千代田 行麿	千代田珈琲インターナショナル㈱	代表取締役社長
30	理事	新倉 和歌子	一般財団法人 新倉会	理事長
31	理事	福永 慶隆	日本医科大学付属病院	名誉院長
32	理事	古澤 昌弘	（株）ライフ・アドバンス	代表取締役社長
33	理事	松本 英昭	一般社団法人 地方公務員共済組合協議会	会長
34	理事	松本 清司	（株）オフィス・ブレーン	代表取締役
35	理事	米倉 正明	タアロアエンジニアリング（株）	代表取締役
36	理事	渡辺 仁史	早稲田大学創造理工学部建築学科	名誉教授
1	監事	窪田 武	ブレークモア法律事務所	弁護士
2	監事	土家 瑞生	UFJ三菱リサーチ＆コンサルティング	元取締役専務

新会員から

新会員からのお願い

吉田法子

昨年入会した吉田法子と申します。小林事務局長より「新会員からの意見・要望」をとのご提案を頂き有難く思います。

私達も新会員として賢人会会議所に入会し事務局や事業のお手伝いをしようと意気込んで入会したものの コロナ禍の中での面談の交流が閉ざされている今日、何とかして会員の皆様の近況のお知らせや心境を吐露出来るプラットホームを作ってはいかがでしょうか？

入会したものの何もない状況ではモチベーションが下がります。

グループの運営はこちらで頑張りますので賢人会会議所広場を作って頂けますようお願い致します。

我々新会員が次の機会でお会いするときに「あっ、この前賢人会広場でお会いしましたね。」とご挨拶出来る間柄になっていればどんなにか親近感も湧き楽しく参加出来るかなと思います。

現在私達はグループで月に一回ですが古事記の勉強会をしています。本当に楽しく学ばせて頂き幸せです。グループラインでは毎朝、易経を送って頂いたり、交流の場にしております。

今後とも皆様宜しくお願い致します。

マーク・エステル氏の展覧会でエステル氏と主催者（右）と

活動報告

「ジェネリック医薬品の日」制定記念講演会（報告）

事務局長　小林正博

日本賢人会議所は、この3年余り「未病」をテーマにタスクを作り、福生吉裕副会長（日本未病総合研究所所長）を座長として、学びと議論を重ねてまいりました。その成果は「人生100歳時代の到来に備える“現代未病”の概念とその活用プラン提言」として当会ホームページの「活動内容」→「未病提言プロジェクト」に掲載し、今期事業計画でも引き続きその内容を深掘りすることとなっています。

その活動の一環として、福生副会長が開催委員長を務め12月22日に開催された「ジェネリック医薬品の日」制定記念講演会に、3回の準備委員会とともに参加いたしました。政府は2020年9月までに、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用割合を80％にする目標を設定し、ほぼ達成しています。準備委員会に参加する足立区では、ジェネリック医薬品の活用により年間13億円の医療費削減効果があるなど、この取り組みは国民皆保険制度の持続性に貢献することが期待されています。

日本賢人会議所は、この機会を通じて厚生労働省、協会けんぽ、健保連、足立区などとも連携し、ジェネリック医薬品普及の啓発アニメーション「ジェネリック医薬品のお話」を作成し、制定記念講演会で上映しました。ジェネリック医薬品の利点などを紹介しておりますので、当会のホームページでご覧ください。

東京神保町の学士会館で開催された記念講演会（撮影のためマスクを外しました）

事務局より

事務局長ご挨拶

小林正博

令和２年後半から千代田行麿前副理事長に代わり、事務局長をさせて頂くこととなりました。何卒よろしくお願い申し上げます。13年前、国際協力機構（JICA）九州国際センターに勤務した折、青年海外協力隊員の初代カウンセラーを務めて頂いた小早川理事長の知己を得て、そのご縁で当会の設立準備段階から事務局員として関わって参りました。また、橋本会長とは龍太郎元総理が会長を務めた2003年の第三回世界水フォーラムの事務局次長だった頃からのご縁です。

事務局と言っても常勤者はおらず全員がボランティアのため、行き届かないことが多々あることは、大変申し訳なく思っております。これまでどおりの活動がままならないコロナ禍の現在ではありますが、昨年入会した新たな会員の皆様に事務局をお手伝い頂けるとのことで、大変心強く思っております。この新しい日常も長期にわたりそうな様相です。今後はこれまで以上にWEB会議などデジタル情報技術を上手く利用しながら、当会の活動の持続的発展を図って参りたいと思います。何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。最後に、会員でもある元の職場の長の舩木亮亮氏と今の職場の長の榎本浩康氏の諸々のサポートにこの場を借りて感謝いたします。

宮下研一副会長（中央）と共通の友人（右端）がいることがわかり、3人で飲みました。